



昭和天皇御製礎

いしづえ
礎

vol.13 CONTENTS

中高一貫コース スタート
新校舎建設中……………巻頭

イベントレポート……………2

尚綱コレクション……………5

新任教職員紹介……………5

中高一貫コーススタート
新校舎建設中

◆中高一貫コース概要

建学の精神を基盤に置き、急速に変化しつつある社会の明日を担う「教養と創造力と品性のある社会人」としての意識を醸成し、10年先、20年先の社会を予見し「社会人として十分に貢献できる人間の魅力と人間力を持った人材の育成を目的」として、平成23年度入学生から中高一貫を新設しました。

概要は、1、「進学指導の徹底と英語教育の推進」 2、「徳育・体育教育の推進」 3、「生命・環境・エネルギー教育の推進」を柱とした特色ある教育を推進します。授業時間の質・量の充実と少人数による進学指導の徹底。中でも英語教育では、外国人3名の指導体制による徹底した英会話授業の推進により、いつでもどこでも英語会話ができる生徒の育成を目指します。また、装道・華道・茶道・書道による日本文化への理解と徳育、情操教育を推進します。さらに、中高5力年間をかけて体系的な座学（授業・講義）と校内での野菜作りをはじめとしたフィールドワークによる「生命・環境・エネルギー教育」を行います。

その他、10年後を見据えた女子校ならではのキャリア教育を中心とした「尚綱塾」、

◆高校の普通コースを
総合コースに再編

進路志望のさらなる実現と志望実現後の連携を推進する為、従来の普通コースを「総合コース」と改め、2年次に「文系クラス」「理系クラス」の何れかを選択します。3年次は「文系」「幼児教育」「食物」「総合生活・情報ビジネス」「医療」の5つのクラスを設け、生徒が自己の進路志望に応じて選択し、学年が進むにつれて徐々に進路を絞り込み、学校設定科目等による進路に応じた授業内容を実施します。また、内部進学を視野に入れた尚綱大学短期大学部との授業等の連携を推進します。

◆高校の特進コースの再編

新たに特進コースの指導責任者として特進コース主任を配置して、従来の各学年による指導体制を3学年合同の指導体制に改め、3学年が一体となった指導の強化・充実を図ると同時に、授業時間・課外授業・模擬試験等の質と量を充実させ、国立・公立大学・難関私立大学・医療系大学等への進路実現を推進します。また、中高一貫コースとリンクした「尚綱塾」「尚綱ゼミ」を導入し、授業時間以外の指導も積極的に行います。

◆奨学生制度の大幅充実

従来の奨学生制度を一変し、入学時の「特待生制度」と入学後の「奨学生制度」の二本柱に改めました。特待生制度は、人物・学力の優秀な生徒に対する「特待生」と特技に優れた生徒に対する「特待特待生」としました。一方、奨学生制度は入学後に顕著な学業成果を修めた生徒を対象とし、特典も特待生とはほぼ同等で充実した特典を与える制度になりました。



◆九品寺キャンパスの再開発

九品寺キャンパスの再開発に伴い、老朽化した高校校舎及び体育館、そして新たに合宿所兼セミナーハウスの建設されることになり、既に九品寺寮の跡地に中高合同校舎の建設工事が進められています。8階建ての中高合同校舎と4階建ての合宿所兼セミナーハウスの完成が平成23年11月末、アリーナ(武道場・剣道場併設の体育館)が平成25年2月末にそれぞれ完成の予定です。新校舎が完成し九品寺キャンパスの教育環境が整備されるのを機に、地域に開かれた新たな九品寺キャンパスを形成したいと考えています。



アリーナ(体育館)



ロビー(体育館)

2Fロビー



中高図書館



中高合同新校舎とアリーナ(体育館)
(H23.12月より順次完成予定)